

大	小	Lv	範囲	短評
浦和明の星 回 例年通りスピードと正確性が必要な構成。ライバルも強いので8割を目標に				
1	(1)	S	分数小数計算	やや面倒な計算、焦らず処理
	(2)	S	食塩水濃度	全量と濃度がわかるので塩の量を見る
	(3)	S	和差算	シンプルな代入計算
	(4)	S	分数	分子を揃えて幅を取る
	(5)	S	三角形折り返し	合同と辺の比からの面積比
	(6)	B	重ねた半円	相似比を取るが、完全初見だと難しい
	(7)	A	水そう	三角柱の入れ方を考えれば容易
2	(1)	S	流水算	時間比からの速度比
	(2)	A		進行距離の比を用いる
3	(1)	S		書き出しでも容易
	(2)	S	貰う規則性	(1)からの規則性で答える
	(3)	A		整理して計算
4	(1)	S		基本
	(2)	A	和差算	差集め
	(3)	A		(2)を踏み台にしてシンプルな計算にする
5	(1)	A		条件の確認
	(2)	A	条件整理	条件の整理
	(3)	B		(2)までの流れからの組み合わせ書き出しでやや難
市川 回 標準的な構成。算数不得手でも6割以上を目標にしたい				
1	(1)	S	分数小数計算	落ち着いて順番通りに
	(2)	A	年齢算	手順ミス注意
	(3)	S	植木算	比を用いてシンプルに
	(4)	S	容積比	数字が少し大きい
2	(1)	S		比を出すだけ
	(2)	A	流水算	比から流れの速さを求める
	(3)	S		易しい
3	(1)	A		組み合わせ図形なので、落ち着いて動きを考える
	(2)	A	点の移動	どのタイミングで重なるかの周期を見るだけ
	(3)	B		正しい位置を把握し、正三角形と二等辺利用で求めるやや難、中盤なので固執しないこと
4	(1)	A	円すい作図	作図問題で難度は低いが、作図練習をしていなかった子は緊張しがち
	(2)	B	紐の長さ	正三角形利用で最短距離を求める。誘導に乗れば難度は高くないがこのタイプ初見だと悩む
	(3)	C	斜線部分の面積	正三角形利用する流れはあるものの、やや難なのでラス前で良い
5	(1)	S		ルール通り書き込むだけ
	(2)	B	規則性	4→4…となっていく規則が見えるかどうか
	(3)	C		(2)を踏み台にする規則性推理、面倒なので最後で良い

大	小	Lv	範囲	短評
専大松戸 1回 解きやすい構成なので8割超を目指す				
1	(1)	S	分数計算	分母の約数から分子が1になる計算
	(2)	S	分数小数計算	落ち着いて順番通りに
	(3)	S	分数小数計算	落ち着いて順番通りに
	(4)	S	小数計算	全体を見て順に同じもので括る
2	(1)	S	単位計算	大きな数の計算にしない
	(2)	S	数列	基本的なグループ分け
	(3)	S	速さ	距離でも比でもシンプルに計算できるように
	(4)	S	植木算	植木算とつるかめ算の複合的な考え方
	(5)	S	円柱の体積	基本の計算
3	(1)	A	仕事算	少し変わった条件なので惑わないように
	(2)	A		幅を考えて確かめまでできると良い
4	(1)	S	犬の年令	書き出して把握
	(2)	A		速さの追い抜きの考え方に近い
5	(1)	A	正三角形の比	直角二等辺三角形の斜辺からの面積比
	(2)	B		並んだ面積比と二乗の考え方
6	(1)	S	点の移動と影	三角形の辺の比から進んだ距離を求める
	(2)	S		それぞれの動きを書き込んで位置関係を把握する
	(3)	A		最終の形を描いて式を立てる
7	(1)	S	水量グラフ	注水量から面積比→辺の比を出して計算
	(2)	S		底面積×高さ÷水量で時間を求める

東邦大東邦 前期 解きやすい構成なので、得意でなくても7割確保したい				
1	(1)	S	計算	2023で括り、約数を見る
	(2)	S	分数小数計算	落ち着いて順番通りに
	(3)	S	分数小数計算	落ち着いて順番通りに
2	(1)	S	和と差	2桁の数から買える組み合わせを考える
	(2)	S	比	易しい
	(3)	A	ニュートン算	端数になったら整数に
	(4)	A	平面図形	見たことがありそうな形なので丁寧に
	(5)	S	平面図形	相似比を用いて差し引きまたは補助線を引いて合計
3	(1)	S	食塩水	濃度は一定なのでシンプルに
	(2)	S		遡る計算
4	(1)	S	速さ	ABの差からACの速さを求める
	(2)	S		シンプルな計算
	(3)	B		2人の差、2人の合計で求めた速さの組み合わせ
5	(1)	S	平面図形	面積から辺の比を求める
	(2)	S		比を用いて長さを求める
	(3)	A		内部底辺から長さを求める
6	(1)	S	立体切断	基本問題
	(2)	A		断面が斜めなことに注意

大	小	Lv	範囲	短評
渋谷幕張 1次 それなりに重いので、やりやすい問題で半分を確保した上で7割超を狙いたい				
1	(1)	S	場合の数	基本的な問題
	(2)	A		場合を分けて数える
2	(1)	S	規則性	例を踏み台に書き出せば容易
	(2)	B		規則性を見つけられない場合はスルーして次へ
3	(1)	S	水量グラフ	取りやすいので確実に
	(2)	B		複数の手順が要るので、ピンとこなければ次へ
4	(1)	S	二等辺三角形	基本問題で(2)への誘導
	(2)	C		(1)の誘導に乗って、30度二等辺三角形と直角二等辺三角形の等積変形
5	(1)	S	立体切断	断面が辺を通ることを把握する
	(2)	A	立体の組み合わせ	難しくはないが、反射的に答えてハマらないように
	(3)	A	作図	(2)がわかっていたら作図自体は平易
立教新座 1回 やや重い構成なので、できる問題を確実に取っていくことを優先				
1	(1)	S	分数小数計算	順番通り丁寧に
	(2)	S	仕事算	次郎が残りの仕事を済ませる時間を引くだけ
	(3)	S	和と差	本文の誘導に素直に乗る
	(4)	S	平面図形	正方形の折り返しは合同の可能性を考える
	(5)	A	回転体	計算がやや重いのでミス避け丁寧に
	(6)	A	数の性質	複数解法を考えて、どの形でも解けるように
2	(1)	S		桁数が多いので丁寧に
	(2)	A	売買損益	誘導に乗れば難しくはない
	(3)	A		(2)を活かしてシンプルに
3	(1)	A		書いて動きを把握する
	(2)	A	三角形の軌跡	等積変形利用でシンプルに
	(3)	B		内側部分の半径は三角形の面積から垂線を求める
4	(1)	S		基本
	(2)	S	立体と影	横から見た図を書いてみる
	(3)	S		横から見た相似系になる高さを考える
	(4)	A		壁がなければどういう形の三角形になるかを考えて相似比
(1)	A	設問文の意味を正確に捉えること		
5	(2)	B		整理しながら3桁最大になる条件を考える
	(3)	B	数と約束記号	条件の再設定に近いので、ピンと来ない場合は他の問題の見直しへ
	(4)	B		(3)からの流れでいけば解きやすい
	(5)	B		ここまでの流れを利用して把握する